

INFORMATION

プラネタリウム秋の番組

銀河系をめぐる

私たちの住む星の世界・銀河系。そこに輝く2000億個の星々によってくり広げられる宇宙のドラマをご紹介します。

9月11日(土)→12月12日(日)

平日	16:00
土曜日	13:30 17:30
日・祝日	11:30 15:30

今夜の星空と天文ニュース

今夜の星空の見どころと最新の天文情報。

土曜日	15:30
日・祝日	13:30

キッズアワー

幼児～小学校低学年向け番組。

土曜日	11:30 (上映日に注意)
10月 2・9・16・30日	「おつきさまものがたり」
11月 6・13・20日	「星座はじめて物語」
12月 4・11日	「クリスマスものがたり」

MUSIC PLANET

ミュージック・プラネット

満天の星と心地よいサウンドが織りなすファンタジックなひとときをどうぞ。

土曜日 19:00 ※12月11日は19:30

10月 9日(土)	「一青窈特集」
11月 13日(土)	「一青窈特集」
12月 11日(土)	「一青窈特集」

上記以外のこの時間帯は、『今夜の星空と天文ニュース』の放映やプラネタリウムコンサート(9月25日・11月27日)などを行っています。くわしくはホームページをごらんください。

■料金(入館料を含みます)

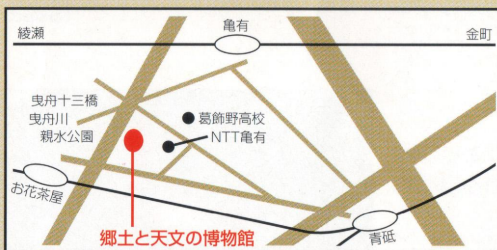
大人450円/小・中学生150円/幼児50円
土曜日は小・中学生以下無料

■休館日・休演日

月曜日(祝日は開館)
第2・4火曜日(祝日は開館し翌日休館)
9月15日(水)～16日(木)(機械保守点検のため)
12月15日(水)～17日(金)(番組入替のため)

■上映15分前までにこ来館ください。

交通のご案内



- 京成線「お花茶屋」から8分
- JR常磐線「亀有」から25分
- 京成タウンバス
(有57 亀有-タウンバス車庫)
[共栄学園][上千葉小学校]下車徒歩5分
- 駐車場に限りがございます。
電車・バスをご利用ください。

ホームページでも詳しくご案内しています。 <http://www.city.katsushika.tokyo.jp/museum>

葛飾区



葛飾区 郷土と天文の博物館

〒125-0063 東京都葛飾区白鳥3-25-1

TEL 03(3838)1101

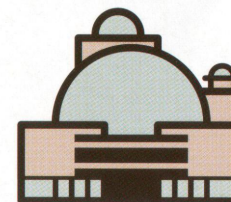
R100
このソフトは再生機を使用しています。



PLANETARIUM

銀河系をめぐる

Vol.54 2004・秋



KATSUSHIKA CITY MUSEUM

天高く昇った王妃・カシオペヤ。



M52



M103

■美しすぎたカシオペヤ

秋の夜、北の空に“M”のように並ぶ5つの星があります。ここに、美しいお妃様の星座、カシオペヤ座があります。

ギリシア神話では、カシオペヤが自分と、娘のアンドロメダ姫の美しさを自慢しすぎたために海の神ポセイドンを怒らせてしまい、アンドロメダを海の怪物のいけにえにさせてしまいました。アンドロメダは危ないところで助けられましたが、カシオペヤは罰としてイスに座ったまま天に上げられてしまいました。

夜空では、カシオペヤ座の隣に、可哀想に囚われの身となったアンドロメダ座を見つけることができます。

■カシオペヤ座に散らばる星団たち

天の川の中にあるカシオペヤ座には、45個以上の散開星団があります。散開星団とは数十から数百の恒星がばらばらと集まっている天体で、天の川の中に多く見られます。これらは、銀河系ができてからしばらくたってから生まれた「新しい世代の星」たちの集まりです。

肉眼では散開星団の姿を見ることはできませんが、空のきれいな地方で双眼鏡を使うとM52やM103が光のシミのように見えてきます。

ミステリー イン ザ・ミルキーウェイ

私達の銀河系。自分たちが住む所とはいえ、まだまだ分かっていないことがたくさんあります。そんな銀河系の3つの謎をご紹介します。

■ 第一の謎 銀河系で一番古い星はどんな星？

一番古い星があるとしたら、それは水素とヘリウムでできているはず。

なぜなら、星が生まれる前の宇宙には水素とヘリウムしかなく、それ以外の元素、鉄や酸素や炭素などは星の中で生まれるためです。

しかし、これまで「古い世代の星」だと思われていた星にも、水素とヘリウム以外の元素も少し入っていたのです。

それでは、銀河系で一番古い星はどこにあるのか。今のところ見つかっていません。



球状星団M13。銀河系の中では古い世代の星たちだと考えられているが、どうやらもっと古い星があるらしい。(当館にて撮影)

■ 第二の謎 活動休止中?の巨大ブラックホール

銀河系の中心には太陽の数百万倍もの質量のブラックホールがあるといわれています。しかし、その活動は予想よりもずっと静かで、このことが大きな謎となっていました。

ところが最近、そのブラックホールが、数百年前には活発に活動していた証拠と思われるものが発見されました。数百年というと、ブラックホールの歴史から考えればつい最近のことです。

現在、たまたまこの巨大ブラックホールが活動をしていないだけで、近い将来、激しく活動する日がやってくるかもしれません。



銀河中心にあるブラックホールの想像図。(STScI)

■ 第三の謎 銀河系の不思議な回転

太陽系の九つの惑星は、太陽から離れたものほどゆっくり回ります。これは、太陽から離れるほど太陽の重力が小さくなるためです。

それに対し、銀河系の円盤を作る天体たちは、どれも同じような速さで回っています。これは、円盤の外側に向かうにつれて物が増えていることを示します。しかし、円盤の外側にむかうと、目に見える星の数は減って行きます。

円盤の外側には、私達の目には見えない謎の物質「ダークマター」があると考えられています。ダークマターの正体はまだ分かっていません。



銀河系と同じような渦巻き銀河・NGC3949。円盤の外側には何かがあるのだろうか。(AURA/STScI)